



平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社力の源ホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼COO 清 宮 俊 之
(コード番号：3561 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役CFO 粕 谷 進 一
(TEL. 092-762-4445)

平成 30 年 3 月期連結業績予想修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,126	百万円 830	百万円 800	百万円 465	円 銭 20.48
今回修正予想 (B)	24,508	920	930	610	26.91
増減額 (B-A)	△ 617	90	130	145	
増減率 (%)	△ 2.5	10.9	16.3	31.4	
(ご参考) 前年同期実績 (平成 29 年 3 月期)	22,430	609	539	271	13.14

(注) 当社は平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。上記に記載の「1 株当たり当期純利益」は平成 29 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して試算しております。

2. 修正の理由

本日公表の「平成 30 年 3 月期第 2 四半期決算短信[日本基準] (連結)」の業績動向は、期初計画に対して、国内店舗運営事業においては、既存店売上高の伸び悩みが見られたものの、利益面では、売上原価及び人件費等のコストコントロールによりプラスで推移しております。海外店舗運営事業においては、売上高及び利益に関しても期初計画を上回って推移しております。下半期の見通しは、国内店舗運営事業においては、創業 32 周年祭の効果や新商品の投入による売上増加策の実行等による売上アップは見込まれるものの、上半期の実績を踏まえ、下半期の既存店売上高計画を前年比 100%から、前年比 98%に修正を行っております。利益面においては、上半期同様にコストコントロールが出来るものと考えており、ほぼ期初計画通りと見込んでおります。海外店舗運営事業における売上高については、既存エリアは好調が続くものと想定しているものの、アメリカ西海岸において 2 号店、3 号店

の新規出店を下半期に期初予算では想定しておりましたが、それぞれ今期末又は来期前半頃にずれ込む見通しであることから、これら影響を加味し、計画の下方修正を行っております。利益面については、アメリカ西海岸のオープンが遅れているものの、オープンコストが未発生となることや既存エリアが好調であることから、下半期の利益計画はほぼ期初計画通りと見込んでおります。この他、期初計画に比べ為替相場が円安で推移しており上半期において営業外収益に為替差益 37 百万円を計上していることや、平成 29 年 3 月期において赤字であった一部の海外子会社の黒字転換により税金等調整前当期純利益に対し税負担率が期初計画に比べ低く抑えられることによる利益増加があるものと見込んでおります。

以上の結果、平成 30 年 3 月期の連結業績数値を上記のとおり修正をいたします。

※ 上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上